



第89号

令和元年（2019年）

11月20日

発行責任 福岡県古賀市議会

特集

平成30年度の決算

意外と知らない古賀市のおサイフ 2～5p



第3回定例会

主な審議・補正予算

6～7p

一部事務組合・請願・陳情・意見書

8p

ここが聞きたい！一般質問

9～15p

委員会報告

16～18p

古賀市議会



写真：五穀豊穡に感謝する古賀神社放生会のお下り

撮影：庵原 征二

平成30年度 古賀市決算

歳出総額

332億9千万円

実質収支：約13億円の黒字



健康 人
サービス モノ

人
モノ
健康
市民
サービス

に活かされたか？

第3回定例会では、古賀市の予算の使い方について適切だったか、9月10日から17日の間で5日間にわたり、決算審査特別委員会にて審査しました。

総額（一般会計及び特別会計の合計）は歳入が351億3897万円、歳出が332億9268万円で、実質収支は13億293万円の黒字となりました。

※文中の金額は全て千円単位以下切り捨て。

人 づくり

教育環境の充実

小学校少人数指導推進事業 1785万円

中学校少人数指導推進事業 1375万円

原則35人以下学級の実施により、必要に応じて少人数対応講師を配置。きめ細かな学習指導、学習支援を行い、生徒の学力向上をはかる。



子育て支援

保育補助者雇上強化事業補助 378万円

保育士の業務負担軽減や保育人材の確保を行うことを目的に、短時間勤務の保育資格を持たない保育補助者を雇い上げ、保育支援を行う。

モノ づくり



ふるさと納税で地域活性化を
ふるさと愛護事業 6億8899万円

主に市外居住者に対して寄附金を募り、返礼品として特産品を送付することで、特産品のPRや販路拡大につなげ、地域のモノづくりを推進。

古賀市に企業を

企業誘致促進事業 1111万円

市内企業や古賀市に進出の可能性がある企業に対して、企業立地を促進し、雇用機会を拡大する。

がん検診で健康管理を

疾病予防対策事業 3287万円

がん検診を受診することで、健康管理に留意し、健康で長生きできるために推進。受診率アップをめざす。



コガバス運行開始

公共施設間シャトルバス

実験運行委託 294万円

公共施設間シャトルバス

バス停設置工事 62万円

公共施設間タクシー運行委託

11万円

平成30年8月1日

より、公共施設間の移動を必要とする方々に対し、有効な移動手段を提供した。



防災、災害対策

防災行政無線応答・緊急時通報サービス

緊急時通報サービス使用料 81万円

災害対策事業費 558万円

防災行政無線応答・緊急時通報サービスによる情報配信、防災行政無線放送内容の電話応答による問い合わせの対応。

また、ドローンを購入、職員4人が操作講習を受講し、災害現場や防災上管理が必要な施設、埋蔵文化財調査箇所のほか、農業、土木、教育などで活用。被災状況の把握や、プロモーション動画のための空撮を行う。



市長質疑

大きな事業に着手する余力があるという根拠は

厳しい財政だからこそ意欲的な取り組みが必要

議員 大きな事業に着手する余力はあるとの財政状況認識だがその根拠は。古賀市は健全財政なのか。

市長 実質公債費比率が5・5%であり余力はあるが、地方交付税の減少、社会保障費の増加等から厳しくなりつつある。そうした状況だからこそ、長期的視点に立った主体的能動的で意欲的な取り組みに基づく自治体経営が求められる。健全財政には到達していない。

議員 大きな事業とは何か。「余力」という表現が軽く感じる。優先順位を決めているのか。

市長 古賀駅周辺再開発、企業誘致、観光物産情報発信拠点等が念頭にある。優先順位は決めている。財政硬直化が解消で

議員 きるよう取り組みるので軽いは全く思っていない。

市長 財政見通しでは政策的に使える一般財源が減少する。余力があるのではなく先行投資のためには行財政改革を今まで以上に取り組む必要がある。

市長 財政状況を踏まえ選択と集中を念頭に政策展開を検討する。



平成30年度古賀市普通会計決算

(*普通会計…一般会計と住宅新築資金等貸付事業特別会計の合算)

歳入総額
221億3,961万円

自主財源 (52.3%)

市 税 市民の皆さんや市内の事業者が納めた税金
69億5,145万円 (31.4%)

寄 附 金 ふるさと応援寄附金
9億4,877万円 (4.3%)

そ の 他 繰入金、使用料、手数料など
36億8,379万円 (16.6%)

依存財源 (47.7%)

国 庫 支 出 金 国が使い方を決めた事業に対して交付するお金
36億6,575万円 (16.6%)

地方交付税 国が地方に配分するお金
28億6,242万円 (12.9%)

県支出金 県からの補助金など
16億2,399万円 (7.3%)

そ の 他 **24億344万円 (10.9%)**

歳出総額
207億3,730万円

目的別歳出決算

民 生 費 社会福祉、高齢者や保育所・子育てなど
89億7,816万円 (43.3%)

総 務 費 総務、調査、公共交通、財政管理、企画、選挙など
34億184万円 (16.4%)

教 育 費 学校教育、社会教育
19億7,771万円 (9.5%)

公 債 費 借金の返済
17億819万円 (8.2%)

土 木 費 道路・公園管理、都市計画など
16億9,477万円 (8.2%)

衛 生 費 環境、健康づくり、健診など
16億835万円 (7.8%)

消防費、農林水産業費、労働費、災害復旧費、商工費、議会費 **13億6,825万円 (6.6%)**

平成30年度古賀市会計別決算

(単位：万円)

区 分		歳 入	歳 出	差 引 額
一 般 会 計		221億1,201	207億3,716	13億7,485
特 別 会 計	住宅新築資金等貸付事業	2,759	13	2,746
	国民健康保険	61億1,254	58億5,096	2億6,158
	後期高齢者医療	7億3,906	7億3,772	134
	介護保険(保険事業勘定)	36億8,415	36億1,390	7,024
	介護保険(介護サービス事業勘定)	4,518	3,583	934
	公共下水道事業	19億5,329	18億8,530	6,799
	農業集落排水事業	4億6,511	4億3,165	3,346
合 計	351億3,897	332億9,269	18億4,628	

公営企業会計

水道事業会計	収益的収支(税込み)		資本的収支(税込み)	
	収 入	支 出	収 入	支 出
	11億7,530	10億777	8億7,070	3億4,217

(各表中の構成比については、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります)

賛成討論 × 反対討論

一般会計 討論



賛成

奴間 健司

市長は大事業に着手する余力があるというが、行財政改革の推進と将来への先行投資が必要だ。SDGsや新国富経済指標の視点で、健康づくりや介護予防を優先すべき。子ども特定健診、災害時停電対策、図書司書の確保等12点を指摘し賛成。



賛成

伊東 洋子

小・中学校の空調設備設置工事が令和2年3月に完了予定。「コガバス」のバス停を増設。さらなる拡大を期待し評価。一方で、発達に不安のある未就園児に、長年寄り添ってきた「こども発達ルーム」が、来年度から業務委託に。親と子の不安に寄り添う支援を要望。



反対

内場 恭子

コガバス運行は一部路線のみで、きめ細かな公共交通が不足。子育てへの支援も不足。小学校35人以下学級の完全実施ができなかった。小・中学校エアコン整備が平成30年夏に間に合わなかった。市民の意見や声が反映できていない。

国民健康保険特別会計 討論



反対

内場 恭子

平成30年から県単位の国保の広域化が実施された。国保税額を4.4%引き下げたが、資格証明書33件、短期証207件の発行もあり、安心の国民健康保険にはなっていない。

介護保険特別会計 討論



反対

内場 恭子

介護保険では、基準月額を1000円（年額12000円）引き下げたが、安心老後の介護保険とはなっていない。高齢者の生活実態調査で実態を把握することを求めたが実現できていない。

水道事業会計 討論



反対

内場 恭子

市水の56%が福岡地区水道企業団、19%が北九州水道用水、自己水源25%と減った。市浄水場の維持など、災害に備えた水源確保が必要。料金引き下げの市民の声に答えていない。

決算審査特別委員会 委員長報告

委員長 吉住 長敏

5日間の集中審査で 決算認定

9月10日から5日間の集中審査を行った。

一般会計歳出で校区まちづくり補助、学童保育所運営委託、クロスパルこがの指定管理収支、勤労者研修センター廃止、輸出向け農産物出荷、玄望園立地企業、西鉄宮地岳線跡地、市立図書館司書の採用計画等と実質収支に関する調査、同会計歳入でふるさと応援寄附、臨時財政対策債の質疑。**住宅新築資金等貸付事業特別会計**で債権放棄した背景、**国民健康保険特別会計**では特定健康診査委託料、**介護保険特別会計**で健康づくり推進費用の財源対応、**水道事業会計**で自己水源と福岡地区水道企業団等からの受水の在り方で質疑。

さらに「古賀市の財政状況の認識について」の市長質疑。9月20日の本会議で採決の結果、一般・特別会計、水道事業会計ともに認定すべきものと決定した。



子どもたちの学習環境をもっと良くするために 音楽室など特別教室にもエアコンを設置

令和2年度から稼働予定の普通教室に加え、音楽室、図工室、美術室などの特別教室にもエアコンが使えるように整備されることになりました。

現在、各学校での普通教室設置工事と同時に行うことで、工期が延長されることがないよう取り組むことになっています。



主な審議

第3回 定例会
(8月26日～9月20日)

付託▽

文教厚生委員会
賛成全員 **可決**

本会 議
賛成 成
可 全
決 員

消防団の任免等に関する条例の一部を改正

不当な差別をなくして

成年被後見人等の権利に係る制限がある制度を見直すものです。



付託▷ 総務委員会 賛成全員 **可決**

本会 議
賛成 成
可 全
決 員

古賀市印鑑条例の一部を改正

旧氏の使用が可能に

婚姻などで氏の変更があった場合でも旧氏印鑑登録が可能になります。



付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 **可決**

本会 議
賛成 成
可 全
決 員

人 事

糟屋郡公平委員会委員

おがわ たけふみ 氏
小 河 武 文 氏
おがた ひろし 氏
緒 方 博 氏
おばた ひろのり 氏
尾 畠 弘 典 氏

古賀市監査委員

たにくち かずま 氏
谷 口 一 馬 氏

本会 議
賛成 成
同 意

古賀市の川を安全に、美しく

河川整備を要望

防災の観点から、古賀市の河川しゅんせつ工事を求める意見書を福岡県に提出します。



本会 議
賛成 成
可 全
決 員

平成31年度の補正予算 教育、予防、介護に関する補正予算が計上

一般会計では、幼児教育無償化に係る事務費の増、妊婦や児童福祉施設等の職員の風しん予防接種費用、鹿部・日吉コミュニティ消防センター建設工事費の増などで

4,702万6千円の追加

補正予算
(9月3日)

第3回 定例会

特別会計

国民健康保険

172万円を減額

退職手当組合負担金の引き下げ

後期高齢者医療

235万円を追加

人事異動に伴う給与費の増

介護保険（保険事業）

5,322万8千円を追加

一般会計繰入金超過分の返還金の追加

介護保険（サービス事業）

71万1千円を追加

人事異動に伴う給与費の増

水道事業会計 **1,538万7千円を追加**

不足分を北九州市から受水するため

下水道事業会計 **44万6千円を追加**

人事異動に伴う人件費の調整

一般会計
賛成 成
特別 会
賛成 会
可 計
決 員

令和元年第3回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期：令和元年8月26日～9月20日

主な審議・補正予算

号数	議案名	結果	奴間健司	福岡トシオ	清原哲史	内場恭子	古賀誠視	内平晃二	中野敦史	渡孝二	吉住長敏	竹下司津男	平木尚子	井之上豊	森本義征	伊東洋子	松島岩太	紙谷由香	村松謙二	田中英輔	結城弘明
42	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
43	古賀市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	古賀市子どものための教育・保育等に係る利用者負担に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	古賀市印鑑条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	平成31年度古賀市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	平成31年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	平成31年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	平成31年度古賀市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	平成31年度古賀市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	平成31年度古賀市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	平成30年度古賀市一般会計決算の認定	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	平成30年度古賀市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	平成30年度古賀市国民健康保険特別会計決算の認定	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	平成30年度古賀市後期高齢者医療特別会計決算の認定	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	平成30年度古賀市介護保険特別会計決算の認定	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	平成30年度古賀市公共下水道事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	平成30年度古賀市農業集落排水事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	平成30年度古賀市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	可決及び認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	工事請負変更契約の締結(平成30年度繰越ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業小中学校普通教室等空調設備整備工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	古賀市監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	糟屋郡公平委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	糟屋郡公平委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	糟屋郡公平委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	古賀市内県営河川浚渫工事実施を求める意見書の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問2	人権擁護委員候補者の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問3	人権擁護委員候補者の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問4	人権擁護委員候補者の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問5	人権擁護委員候補者の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願1	「少人数学級の推進」と「義務教育費国庫負担制度の拡充」を国の関係機関に求める意見書提出に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	「少人数学級の推進」と「義務教育費国庫負担制度の拡充」を求める意見書の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順 ■は議員提出議案

一部事務組合報告

議長 結城 弘明

古賀高等学校組合議会報告

臨時議会で新体制が発足

令和元年5月21日、第1回臨時議会が開催され、組合議員が変更になったことから、その紹介と役職の選任がなされました。互選の結果、議長には引き続き結城弘明が選任され、副議長には福津市議長の江上隆行氏が選任されました。

次に市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減および規約の一部変更の専決処分は、賛成全員で承認。その後、議選監査委員に新宮町議長の牧野真紀子氏を選任。また、組合監査委員には木戸一雄氏が再任。この体制で運営することになりました。



古賀竟成館高等学校体育祭

請願

元年請願1

「少人数学級の推進」と「義務教育費国庫負担制度の拡充」を国の関係機関に求める意見書提出に関する請願

国の責務でもある教育条件整備のため、以下の点について教育予算の拡充を求める意見書を国会並びに政府に対して議会より提出を求める請願

- 1 小・中学校における35人以下学級を早急に実現すること
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担割合を拡充すること

国へ意見書を提出することを求める請願を賛成全員で採択しました。

請願者 古賀市天神7丁目1番30号

田代 良子

紹介議員

田中英輔 清原 哲史

古賀 誠視

陳情

元年陳情4

天皇陛下御即位奉祝賀詞決議に関する陳情書

陳情者

福岡市博多区千代4-30-2

山本ビル4階

天皇陛下御即位福岡県奉祝委員会

実行委員長 山本 泰藏

元年陳情5

令和2年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願

陳情者

東京都千代田区神田小川町3-28

昇竜館ビル4階

公益社団法人 日本理科教育振興協会

会長 大久保 昇

意見書

古賀市内県営河川浚渫工事実施を求める意見書

賛成全員で、県に意見書を提出することに決まりました。

提出者 古賀市議会議員

松島 岩太

賛同者 古賀市議会議員

渡 孝二

「少人数学級の推進」と「義務教育費国庫負担制度の拡充」を求める意見書

賛成全員で、国会および政府に意見書を提出することに決まりました。

提出者 文教厚生委員会

委員長 平木 尚子

ここが聞きたい！

一

般

質

問

質問席

①若者が市政に興味を持つためには ②古賀市の公共交通の未来は	井之上 豊	10 ページ
①「道の駅」への判断は ②古賀市の公共交通のこれからは ③西鉄宮地岳線跡地の活用は市民の声を活かして	内場 恭子	10 ページ
①古賀市の農商工業振興について	中野 敦史	11 ページ
①地域福祉の活性化に向けて ②子育て世代を元気にするには	紙谷 由香	11 ページ
①古賀市の空き家等対策について ②開館 25 年、区切りの年を飛躍のスタートに	田中 英輔	12 ページ
①「ウォーカブル推進都市」への取組について ②歩道の安全対策	内平 晃二	12 ページ
①西鉄宮地岳線跡地の整備に関し近隣住民、歩行者への対応は	福崎トビオ	13 ページ
①これから先の山施策 ②校区コミュニティと職員 ③文化財保護業務の所管	吉住 長敏	13 ページ
①高齢社会を見据え、公共施設のトイレの洋式化と利用しやすい環境へ	村松 謙二	14 ページ
①超高齢化社会を支える課題と対策は	古賀 誠視	14 ページ
① LGBT の方も安心して暮らせるまちに ②障がい者の方も安心して暮らせるまちに ③新生児聴覚検査の公費助成を	平木 尚子	15 ページ
①基本方針や重要施策 決定過程の透明性を求める ②健康を基軸にした将来都市像 2020 年度 本格的一步を	奴間 健司	15 ページ

一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問うものです。
一人 30 分（答弁を含まず）の持ち時間で質問します。
掲載している内容は、質問した議員自身の責任でまとめたものです。
掲載は通告届出順です。

中継・録画は、
インターネットで
視聴できます





井之上 豊
(公明党)

若者の政治参加と公共交通の未来について

答 そうした取り組みも今後工夫していく

議員 愛知県新城市若者議会、静岡県牧之原市市民ファシリテーターについてどう思うか。

市長 若者議会は主権者教育の面からも大変興味深い取り組み。静岡県牧之原市のファシリテーターの取り組みも市民力の底上げの意味から大変有意義な手法と考える。

議員 地方の公共交通の衰退についてはどう思うか。

市長 モーターライゼーションの進展や人口減少で利用者が減少することにより、採算性の観点から路線や便数が減少、サービスの低下から利用者がさらに減少する負のスパイラルに陥っている。深刻な運転手不足も相まって事業者の経営が圧迫され、路線維持が困難。このような状況にあっても、住民ニーズに応じて行くことが地方に求められている。

議員 高齢者講習についてどう思うか。

市長 高齢者の増加に伴い認知機能検査の対応が追い付かず、予約が取りにくい状況だった。県は本年度から、認知機能検査の場を免許試験場や一部の警察署に変更。予約は二元的に受け付けるコールセンターを開設。自動車教習所の負担が軽減された。

議員 運転自動化の展望について。

市長 現在は、あくまで運転をサポートするサポカーがあるが、市場においてまだ提供されていない。自動運転が可能となれば、安全面、市民の移動の観点から有効。今後の情勢を注視する。

若者議会の活動報告があった会場



一般質問



内場 恭子

道の駅の判断へ市民の声や意見の重要度は

答 声をどう取り入れるかは市長の責任

議員 道の駅は整備をしない判断をした。観光・物産と情報発信の拠点機能を持つもの、JR古賀駅周辺再開発とコスモス館機能強化の連携、グリーンパーク周辺への工業立地推進とは。

市長 拠点形成プロジェクトチームを立ち上げて、古賀駅東口周辺の再整備を具体的に進めさせている。

議員 市民の声や意見、アイデアを生かし、市民や職員、市の財政的な負担のないように願う。

利用しやすい公共交通コガバス

議員 市の地域公共交通網形成計画とは、目的は何か。

市長 持続可能で利便性の高い公共交通網形成に、移動実態やニーズを分析し、総合的に検討する。

西鉄宮地岳線跡地の活用は

議員 コガバスの路線拡充をすべきだ。跡地の車道化で福津市からの交通量が増え、花見小周辺で事故増加や495号線へつながる

市民の声を生かした公共交通を



道路拡幅による立ち退きの心配などで反対と意見がでた。丁寧なやり方の説明が必要だが。

市長 跡地は長年変わらないまま。まちづくりとして妥当ではない。

議員 市民の声は、車道より、津波・災害対策や通学路の安全対策だ。まちづくりを考えるからこそ、反対の声が出る。それを丁寧に拾うのが、市長の仕事だ。

市長 現状で放置することは適切ではなく、何らかの整備が必要。エリアに最適な結論を出すためにさまざまな取り組みをする。



中野 敦史
(自由クラブ)

古賀市の農業振興について

答 必要なフォローアップを検討する

議員 認定農業者に対する補助率が、

他自治体と比べて厳しいのでは。

市長 関係機関とも意見を交わしながら

庁内でも議論をしていきたい。

議員 新規就農時に掛かる高い負担を

軽減させる必要があるのでは。

市長 課題については同じ認識を持つ

ている。関係機関とも協議をし

ていかなければならない。

議員 ふるさと納税の寄附金の中から

こういった就農者に対する補助

率の引き上げや市単費の補助事

業の財源として活用できないか。

市長 視点として今後の検討の際の材

料にしたい。

議員 農業経営の安定化や生産性の向

上、また担い手確保のためにも

基盤整備は必要。小野南部地区、

薦野清滝地区に続く予定は。

市長 現在、具体的な候補地はないが、

持続可能な農業を実現していく

上で基盤整備は極めて有効な手

法。法人化も含めて、併せて進

めていくべきだと認識している。

商工業への支援体制について

議員 新規及び既存企業に対しての支

援策に、いずれも3年間の固定資

産税の課税免除があるが、免除の

激変緩和策は考えられないか。

市長 公平性や中立性といった観点か

らすると、非常に重たいテーマ。

慎重に考えていく必要がある。

議員 既存企業支援策である先端設備

等導入計画認定の推進は。

商工政策課長 商工会と連携し認定して

いただけるよう周知を含め取り

組む。

農業の担い手不足は喫緊の課題



紙谷 由香
(市民クラブ)

地域福祉の活性化について

答 情報共有と相互に連携できる体制を整備

議員 我が事丸ごとの地域づくりを育

む仕組みへの転換とあるが、こ

の我が事とはどう考えているか。

福祉課長 支え手受け手という関係を超

えて、地域住民の皆さまが地域

の多様な主体が全て自分事とし

て、地域の中で共に支え合ってい

くということだと理解している。

議員 井戸ばた座談会のような市民参

加型の今後の取り組みは。

福祉課長 小学校区別にすでに5月から

7月に実施しており、今後も引

き続き取り組んでいきたい。

議員 地域の活性化は人づくりだと思

うが、人材育成についてどのよ

うに考えているか。

市長 福祉を中心として担う人をどう

見出だしていくか、誘い出して

くるかは、公として取り組みこ

とができる分野だと思っている。

担い手が地域で活動する中で、

他の住民にも、その重要性を認

識できるような機運を醸成する

ことで、私もやろうかな、と広

がっていく土壌になると考えて

いる。

子育て世代を元気にするには

議員 子育て支援拠点ひかりマザーズ

ルームと他の支援活動の連携は。

子育て支援課長 スタッフ会議を開催して

おり、情報共有することで子育

て支援へつなげている。

議員 ブックススタートを4か月集団健

診へと発展的に検討できないか。

保健福祉部長 現在においても医師の確

保に非常に苦慮している。現状

では厳しいと思う。

多世代交流の地域活動





田中 英輔
(山海会)

高齢化が進む、予防の空き家対策が必要では

答 先進地の取り組みなどを研究し進める

議員 高齢化が進み、独居高齢者の増加が見られる。空き家等の現状はどのようなになっているか。

市長 2015年度の調査では、空き家率は7・5%、活用予定のない空き家率は2%である。2018年度に国が調査しており、今年度公表される予定である。

議員 2015年の空き家実態調査から5年たち高齢化などが進んだ。再調査などの考えは。

都市計画課長 国が行った2018年度の調査結果を待ちたい。

議員 空き家の発生は「所有者死亡」が多数を占めている。発生予防が必要だがどう取り組んでいるか。

市長 空き家は個人の財産で、事前に把握することは難しいが、相続登記の案内や空き家・空き地バンクの周知など資産管理の啓発に取り組んでいる。

議員 神奈川県松田町は、所有者に相続など、資産の引き継ぎを考え

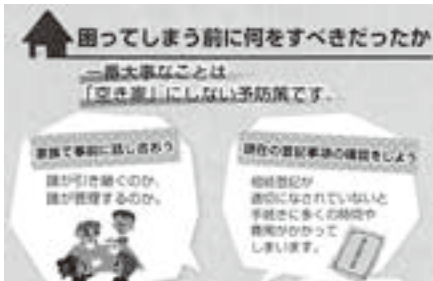
ていただくよう予防推進を加え取り組まれている。このような取り組みが必要ではないか。

建設産業部長 そうした先進地の取り組みを参考に、研究し進めたい。

議員 移転開館から25年になる。図書館の利用は減少傾向である。古賀駅東口を含めた活性化策の検討もあり、まちづくりでも、図書館の役割は大きい。取り組みは。

教育長 興味を寄せられ、利用される図書館へ環境整備に努める。

神奈川県松田町の対策パンフレットから



内平 晃二
(自由クラブ)

一般質問

「ウォーカーブル推進都市」への取り組みは

答 活用に向けた取り組みを指示

議員 古賀の都市機能の推移は、駅を中心とした周辺部の活気のある成長があり、続いて、バブル時代までに郊外の大規模開発などと共に駅周辺部の一部空洞化やスプロールなどの弊害が生じた。現在古賀市は郊外の成長も伸び悩み、都市全体が衰退してしま

うのか、または、中心都市部および全体の基本構造がリニューアルされ再び成長を始めるか大切な時期であると考えている。

市長 国土交通省は中心市街地へ集約された都市機能に交流、消費および投資などを呼び込み、まちなかに賑わいの創出をめざす「ウォーカーブル推進都市」を創出した。

市長 駅周辺の再開発などに、「ウォーカーブル推進都市」の活用は考えているか。

活用に向けた取り組みを指示している。

議員 通学路の安全対策について

議員 花鶴小学校区において、美明地区の児童増加を原因とする通学路の安全対策のモデルケースとして、後牟田大池線の自転車道の設置は行うか。

市長 自転車道設計を行う。

議員 既存通学路の危険箇所の改善および注意喚起等の対応は行うか。

市長 ガードレールやカーブミラー、路面標示などの交通安全施設の設置工事を実施していく。

「ウォーカーブル推進都市」のイメージ





福崎 トビオ
(自由クラブ)

古賀西、花見小学校付近の安全対策は

答 生活道路対策エリアの登録、実証実験を検討

議員 宮地岳線跡地整備の進捗と歩行者の安全確保への取り組みは。

市長 信号機、横断歩道など、今後遊歩道を主とした整備計画案にて引き続き対話集会を実施。

議員 詳細設計とはどのようなものか。

建設課長 具体的な図面。詳細設計後すぐに着工とはならず、今後も意見を聞き、精度を上げていく。

市長 詳細設計後も住民の声は聞きたい。子どもたちが安全に歩ける道は、多くの世代が安心して歩ける道になると捉えているが、古賀西、花見小学校付近の安全対策は。

建設課長 古賀西校区は生活道路対策エリアに登録した。効果的、効率的な対策の実施が可能となり、可搬型ハンブの活用や予算面も補助、交付金の対象となる。

議員 花見校区も、生活道路対策エリアに登録されているのか。

建設課長 準備を進めている。

議員 古賀西校区は、避難路の確保

安全、安心して歩ける道の整備を

安全、安心して歩ける道の整備を

安全、安心して歩ける道の整備を

安全、安心して歩ける道の整備を

安全、安心して歩ける道の整備を

安全、安心して歩ける道の整備を

安全、安心して歩ける道の整備を

安全、安心して歩ける道の整備を

安全、安心して歩ける道の整備を

安全、安心して歩ける道の整備を

安全、安心して歩ける道の整備を

安全、安心して歩ける道の整備を

安全、安心して歩ける道の整備を

安全、安心して歩ける道の整備を



吉住 長敏

ヤッホー周遊コースを

答 観光としても魅力的

議員 これから先の山施策の思いとは。最初に浮かんだのは城の山の景色。素晴らしい場所です。次の世代に残さなければならぬ資源だ。

市長 2024年度から住民税に年額千円の森林環境税が課税、今年度から森林譲与税の交付が始まり市長が裁量権をもつ森林経営管理法が施行された。間違っていないか。

議員 その通りと認識している。

農林振興課長 今後、高齢化で個人で山を維持するのは絶望的。市の面積の3割ほどにしか過ぎない山は、基本は公で戦略的に市民や都市圏住民に生かす方向へ大転換する時期では。

市長 森林は公益的機能があり、親しむ視点で地域と共働し資源として生かす市の責任がある。

議員 専門家は本市の山の特性を「身近な深山」で八王子や青梅市と似ているとの評価があるが所見を。

類似した感覚で捉えられた専門家の指摘は興味深く聞いた。

これまで「山びこ」の経験は。

子どもの頃に経験した経験がある。

提案図通り薦野にはその場があり自然がもたらす恵みを子どもたちに体験してほしいと思うが、個人的には素敵な考え方と思う。様々な課題の整理が必要。整備できると回遊性も出てくるし市内外の人にも観光として魅力的に映るだろうと思う。

※その他の質問

校区コミュニティと市職員

文化財保護業務の所管

文化財保護業務の所管

文化財保護業務の所管

文化財保護業務の所管

文化財保護業務の所管

文化財保護業務の所管

文化財保護業務の所管

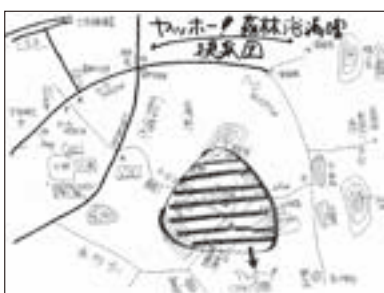
文化財保護業務の所管

文化財保護業務の所管

文化財保護業務の所管

文化財保護業務の所管

ヤッホー！森林浴提案図





村松 謙二
(市民クラブ)

早期に小・中学校のトイレを和式から洋式へ

答 令和9年度までに順次行う計画だ

議員 子どもたちは家では洋式、学校では和式トイレが多いため、苦手な子どもたちがトイレを我慢する深刻な問題が起きている。

教育長 この事実を把握しているか。

議員 平成28年4月時点で、文部科学省が調査した資料では、古賀市の小・中学校のトイレは、和式が73・2%、洋式が26・8%と近隣市町で最も低い。これは大きな課題だと考えるが。

教育長 古賀市学校施設長寿命化計画において順次洋式化していきたい。

しかし、各階に一つは和式便器を残したい。

議員 舞の里小学校の体育館は、多目的トイレ以外の男女各トイレはすべて和式便器だ。災害時に避難所となる小・中学校体育館には高齢者や障がいのある方なども来られる。まずは公共施設の中でも優先的に洋式化すべきだ。

市長 洋式化が遅れていることは市長に就任して認識していた。財政面を考えると長寿命化計画に基づいてきちんと進めたい。

議員 スピード感がないと思う。国の補助事業、ふるさと応援寄附金

など財源の確保や整備方法を工夫してほしい。今後の計画は。

教育総務課長 古賀北中のトイレ大規模

改修を予定。今はエアコンを工事中のため、来年度は設計を行い、再来年度に施工を行う。

議員 まずは普通教室棟と体育館のト

イレの洋式化を進めてほしい。

学習環境の向上に子どもたちへの投資を

公立小・中学校施設のトイレの状況

	洋便器率	和便器率
志免町	80.3%	19.7%
新宮町	68.5%	31.5%
久山町	66.7%	33.3%
篠栗町	50.8%	49.2%
福津市	40.2%	59.8%
須恵町	38.8%	61.2%
宇美町	37.6%	62.4%
粕屋町	34.9%	65.1%
古賀市	26.8%	73.2%
全国平均	43.3%	56.7%

出典：文部科学省 調査資料を編集 平成28年4月1日現在

一般質問



古賀 誠視
(市民クラブ)

地域公共交通網形成計画のめざすものは

答 持続可能で利便性の高い公共交通網の策定

議員 地域公共交通網形成計画の進捗状況と、めざすものは。

市長 市民生活を支える持続可能で利便性の高い公共交通網の形成に向け計画を策定する。8月のアンケートの1次調査では移動特性の把握が主な目的で、2次調査では特に利用割合が高い層を対象に、実際の公共交通の利用状況、また利用上の課題点、課題、ニーズなどの調査を実施。

議員 高齢者の外出促進のための、運転免許証返納者への支援策は。

市長 運転免許証返納者への支援については、地域移動サポート事業や、おでかけバス事業を実施しており、特に70歳おでかけ100円バスは利用者も年々増加するなど運転免許証返納の有無にかかわらず、高齢者の移動支援策として有効であると考えている。花鶴校区コミュニティが解散されたが今後の対応は。

コミュニティ推進課長 地域と情報交換を

しながら自主的に校区コミュニティの立ち上げへの機運の醸成を待ち、相談があった場合は、速やかに支援ができる体制を維持していく。

議員 高齢化社会の中で地域や校区コ

ミュニティの活動が地域を支える役割として期待されるが。

市長 校区コミュニティの活動の円滑

化および活性化を図るため、地域の主体性を尊重しながら相互に連携し、地域の課題に取り組めるよう支援を行う。

増えてほしい 便数も利用客も





平木 尚子
(公明党)

LGBTの方も安心して暮らせるまちに

答 パートナーシップ宣誓制度を準備

議員 LGBTの方と直接対話したり相談を受けたことはあるか。

市長 これまで当事者の方からは、生きていくことで大切な住居や医療の確保、災害時の避難に関する課題などの意見を聞いている。

議員 古賀市では、LGBTに対する理解や教育は、どのように進めているか。

市長 広報こがや、人権カレンダーを使った啓発、LGBTをテーマとした講演会の開催や校区啓発を実施。学校現場では教職員を対象に、当事者や啓発団体関係者を講師に招き研修を行っている。児童生徒には、古賀市人権教育副読本「いのちのノート」などを活用しながら指導を行っている。

議員 LGBTの方が困っていることに現在古賀市でできる支援は。

市長 職員などによる相談対応や、内容に応じて関係機関などへつな

いだり、連携して問題の解決に向け取り組んでいくこととしてい。学校においては、性の多様性に対応できるように、配慮した対応をしている。

教育長 制服については市内3校中2校が選べる制服に変更を検討中。

議員 パートナーシップ宣誓制度についての考えは。

市長 先行実施の福岡市などを参考に担当課に早期制定を指示している。

※その他の質問
障がい者も安心して暮らせるまちに
新生児聴覚検査の公費助成を

福岡県・市のLGBT啓発チラシなど



奴間 健司
(友和)

子ども対象の特定健診・血液検査の導入を

答 有用性があると認識した上で検討したい

議員 小・中学生や若者対象の特定健診の必要性をどう思うか。

市長 今後の検討課題と考える。

議員 宇美町は2018年度に小学5年生を対象に血液検査を実施。

議員 ヘモグロビンA1c5.6以上が32%という結果が出た。保健師が児童、保護者に30分かけ保健指導した。この取り組みの感想は。

市長 有用性ある取り組みと認識。大いに学びになるケースだ。

議員 香川県では2012年から全県的に小学4年生対象に血液検査を実施。糖尿病予防に力を入れている。福岡県はやってくれるか。

市長 小川知事がその意義を認めたら県独自に取り組む可能性はあると思う。

議員 古賀市が宇美町に続き、県を動かし、児童生徒生活習慣病予防健診を実現してはどうか。

市長 本日の提案を念頭に置いて検討していくべきだと考える。

議員 予算は古賀市の5年生対象だと約167万円で実施できる。

市長 財政も含め子どもの健康にかかる取り組みを考える参考にしたい。

議員 来年度予算編成を意識して提言している。来年度着手してほしい。

市長 今後の取り組みを考える上で本日のやり取りは念頭に置く。

議員 保健師が保健指導に力を発揮できる環境配慮が必要だ。

市長 保健師の役割は大きい。効果的に働ける体制づくりは大事だ。

※その他の質問
基本方針等の決定過程の透明性

子ども対象血液検査

- 宇美町・・・小学5年生対象に血液検査
 - 香川県・・・県内全市町で小4対象に血液検査
 - 兵庫県尼崎市・・・11歳と14歳対象に特定健診
- ※子どもの頃からの生活習慣病予防対策を実施する自治体が広がりつつあります

総務

委員会

8月7日

委員長	清原 哲史	田中英輔
副委員長	内平 晃二	吉住 長敏
村松 謙二	井之上 豊	

公共交通の

実績について

問 おでかけバス事業の6月末時点の累計登録者数は1444名だが制度の周知活動は十分か。

答 昨年度に比べ今年度は利用者数、登録者数ともに増加しており、今後とも周知に努める。



経営企画課

古賀市職員採用試験



問 今年度から職員採用試験を2回に分けているが効果はどうか。

答 第1回目の採用試験は7月に行ったが受験者数も多く効果はあった。2回に分けることで受験機会を増やし、受験者にとって受けやすくなった。

人事課

文書戸別配布について

「広報こが」や、市から各家庭にお知らせする文書などは、これまで自治会の皆さんに各家庭への配布をお願いしてきました。

自治会未加入の家庭も多く、自治会の負担軽減のために、4月からは市が委託した事業者が文書等を戸別配布しています。

問 「広報こが」が届かないと市民から聞くことがあるが把握しているか。

答 配布事業者からは文書各戸配布の完了報告書は毎月指定の期日終了後に集計報告がきている。

問 自治会配布のときには高齢者への見守りの機能も兼ねていたが事業者配布の場合はどうか。

答 高齢者への対応は緊急を要するものについては随時報告がある。

コミュニティ推進課

選挙についての総括

投票率の向上や効果を検討するために選挙総括を古賀市独自に行っています。

問 10代への投票の呼びかけは行っているか。

答 10代からの主権者教育の重要性は認識しており、古賀市内の高校への啓蒙等を積極的に進めていく。

問 サンリブでの期日前投票、投票時間の2時間繰り上げの効果は。

答 サンリブでの投票は、全投票者の約20%。2時間繰り上げによる削減効果は42万7189円。



総務課

文教厚生

委員会

7月24日
26日

委員長	平木 尚子	奴間 健司
副委員長	伊東 洋子	福崎 トビオ
	紙谷 由香	松島 岩太

小・中学校勤務時間外は留守番電話に

小・中学校では教職員の働き方改革の一環として、勤務時間外の電話対応は、不在メッセージによる留守番電話対応を実施します。

問 録音機能のついた留守番電話対応にしない理由は。

答 先生に授業の準備に集中してもらうため。

問 緊急の電話対応についてはどうなるのか。

答 児童生徒が帰り着く頃までは職員が学校にいますので、現在と変わらない。

教育総務課

「クロスパルこが」の今後は

問 「クロスパルこが」の将来はどのように考えているか。

答 今年度に策定する公共施設の個別施設計画をもとに、今後の公共施設の運営や、統廃合を考える。個別施設計画の策定に係る議論の中で、方向性を決定する。



生涯学習推進課

子ども発達ルーム事業が委託に

問 子ども発達ルームの委託が一部から全般になったのはなぜ。

答 さまざまな業務が密接不可分。一部のみの委託では連携のための協議が多くなる。全般的に委託をする方が、良質なサービスが提供できる。

問 スタッフは全部変わるのか。

答 相談を受ける窓口はそのままとなる。職員については、市の雇用ではなくなるが、専門的な知識や保護者、子どもとのつながりなどがあるので、事業所と話をしていく。



子育て支援課

特定健診・がん検診の受診率のアップを

問 古賀市の特定健診受診率の評価は。

答 受診勧奨などに努めて、若干増えてきたが、開始から10年。伸び悩むところもある。

問 国保の医療費が古賀市は全国でも高い方。危機感を持つべきでは。

答 がんの医療費が伸びている。がん検診の受診勧奨に努力をしている。新規受診者などへの保健指導も実施している。

問 数値目標より、結果として健康になることを意識しては。

答 目標設定を考えるといく。



予防健診課

市民建産

委員会

7月31日
8月 5日

委員長	森本 義征
古賀 誠視	渡 孝二
副委員長	中野 敦史
内場 恭子	竹下 司津男

玄望園地区への 企業誘致は

新たな財源確保のため早期の企業誘致が期待される玄望園開発の現状について。

問 玄望園への企業誘致は進んでいるか。

答 昨年度38カ所の企業を訪問した。現在数社が契約済みとのこと。今後も「デベロッパ」と情報共有し、古賀市の魅力を発信しながら誘致を積極的に進めていく。



整地が進む玄望園

商工政策課

古賀駅に エスカレーター設置は



問 駅前開発と同時にエスカレーター設置の見通しは。

答 現状の駅前広場では設置が困難であり、今後スペースの拡張など、エスカレーターの早期設置を検討していきたい。

都市計画課

県道35号筑紫野古賀線の 拡幅は

古賀―新宮町境の道路の拡幅について、なかなか工事が進まない現状ですが今後の展望は。

問 筑紫野古賀線新宮町境の完成の見通しは。

答 用地交渉が2件残っている。工事の完了年度は今のところ県もはっきり言えない状況とのこと。



古賀物流団地前

建設課

セアカゴケグモへの対応は

市内10カ所を超える地域で、200匹以上発見され、定着化が進んでいます。



問 近年発生しているセアカゴケグモなどの対策は。

答 対策として初動は環境課職員が現場に赴いて駆除をし、また市民に注意喚起を行っている。

環境課

外国人居住者と 地域住民との共生は

問 昨年から比べて古賀市でも外国人居住者が倍増しているが、近隣とのトラブルなどはないか。

答 窓口対応の中では、今のところトラブルなどは起きていない。

市民国保課

議員力を磨く取り組み

議員個人の自己研さんとは別に、これらの研修を行いました。

中部十一市議会議長会 議員研修会

今年から那珂川市が加わったことで11市となり、初の福岡県中部十一市議会議長会議員研修会が10月7日に開催されました。龍谷大学政策学部教授 土山希美枝氏を講師に招き、「質問力を高める、議会力にいかす」との演題で以下の内容でした。

- ・自治体の役割と議会の役割
 - ・一般質問の役割
 - ・一般質問の課題、構造および準備等
- 一般質問は多種多様でマニュアル化されるものではありませんが、その重要性を再確認する機会となりました。



議会研修会

地方財政の仕組みと古賀市の財政状況をテーマに、10月18日財政課職員を講師に招き、研修会を実施しました。

予算・決算の審査では、財政の仕組みを理解しておかないと、的確な審査と古賀市の将来構想や政策立案が困難となります。

古賀市財政状況は、経常収支比率が95・7%と財政構造の弾力性が乏しくなりつつあり、基金（積立金）からの繰り入れで当面はしのいけても、少子高齢化の進展に伴い、市税は減少する反面、社会保障費など右肩上がりに増加していきます。

歳出の抑制だけでは、今後の市の財政を賄うことはできません。土地利用の転換を図り、企業誘致を促進し、雇用の拡大と定住化を図ることにより、自主財源を確保（税収）することが、喫緊の課題です。

湾岸議会議長協議会 議員研修会



10月25日に古賀市、福津市および新宮町の議員で構成される湾岸議会議長協議会の議員研修会が開催されました。

「自治体議員のコンプライアンス研修」と題して第一法規株式会社から講師を招き、憲法、法律、条令などの法体系の解説。また、市民を代表した議決機関である議会の構成員たる議員に求められるコンプライアンスを、事例に基づいて解説いただきました。

研修を受け、議会における最高規範たる「古賀市議会基本条例」の位置づけを再認識する機会となりました。

ようこそ古賀市へ 視察受け入れ

古賀市議会では、定例会などの間に毎年多くの市町村から視察を受け入れています。

議会改革について

長崎県松浦市

議会改革特別委員会
8月22日

議会だよりについて

福岡県八女市

議会報編集メンバー
9月26日

特別委員会について 政策推進会議について 陳情について

神奈川県大和市

議会運営委員会
10月3日

視察受け入れの様子





第3回定例会の傍聴者は38人でした。
 ありがとうございました。
 第4回定例会は12月3日(火曜日)開催予定です。

インターネットによる中継・
 録画配信も行っています。
 ご利用ください。



古賀市議会の中継・録画は

古賀市議会 🔍

またはQRコードで検索してください。



中継・録画

古賀市議会 HP

スマートフォン、
 タブレットにも
 対応しています。



18 水	16 月	13 金	12 木	11 水	10 火	9 月	6 金	5 木	12/3 火	日 曜
本会議(最終日)	一般質問	一般質問	一般質問	補正予算審査 特別委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	本会議(2日目)	本会議(初日)	会議名
開議時刻は全て9時30分～										

◎会期日程は、11月28日(木)の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。
 ◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。
 ◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。
 (本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です)
 ◎請願書の締切りは11月26日(火)午後5時です。

令和元年 古賀市議会
 第4回定例会会期日程(案)
 会期 12月3日～18日 16日間

表紙の言葉

今年の古賀神社放生会お下りは古賀南区が担当でした。古賀神社周辺を五穀豊穡に感謝しながら1時間以上かけて練り歩きました。今回は長年地域の行事をボランティアで撮影いただいている庵原さんに素敵な写真を提供していただきました。

編集後記

今期初めて通常の議会報作成でした。議会報も2期目になりましたが、なかなか思いどおりにできず四苦八苦。それでもこれまでの内容を受けながら、新しい内容で読みやすく、委員全員で力を合わせて編集しました。ぜひ読んでください。(平木)

議会報編集常任委員会

- 委員長 福崎トビオ
- 副委員長 平木 尚子
- 委員 清原 哲史
- 委員 内平 晃二
- 委員 竹下 司津男
- 委員 紙谷 由香

